

やまぐちっ子の学力向上に向けて - 提言 -

平成28年1月

やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

平成27年度の全国学力・学習状況調査は、小・中学校ともに、国語、算数・数学、理科の全区分において平均正答率が全国平均以上の結果であり、これまでの学力向上の取組の一定の成果が見られました。

一方で、知識・技能を活用する力、特定の内容に関する知識や技能の定着、学習習慣の確立や家庭学習の充実など学習意欲の一層の向上といった、継続した課題が明らかとなっています。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、学校における取組や教育委員会の施策、これまでの全国学力・学習状況調査や学力定着状況確認問題の結果等を踏まえ、今後の取組の一層の充実に向け、以下の提言をまとめました。

1 学力向上に向けた学校の組織的な取組の一層の充実

- 山口県学力定着状況確認問題の継続と学力分析支援ツールにより、全国学力・学習状況調査と合わせた年間2回の検証改善サイクルを効果的に活用すること
- 校内研究体制を確立することにより、課題解決に向けた全校共通の取組を徹底すること

2 教員の授業力のさらなる向上

- やまぐち総合教育支援センターと連携することにより、継続課題に視点を絞り込んだ指導方法の研究を推進すること
- キャリアステージに応じた多様な研修会の充実や学力向上推進リーダー・推進教員の活用により、教員の指導力の一層の向上を図ること
- 見通しと振り返り、主体的・協働的な学習活動の計画的な実施や、板書型指導案、授業評価、授業交換の推進により、各学校の授業改善に向けた日常的な研修の定着を図ること

3 子どもの発達や学びの連続性を踏まえた学習環境の整備

- 合同研修会や乗り入れ授業、研修会への相互参加により、小中連携・中高連携の一層の充実を図ること
- 少人数指導や補充学習の計画的な実施により、個に応じたきめ細かな学習支援を徹底すること

4 家庭・地域との連携・協働の推進

- 小中学校間や家庭との情報共有により、学習規律の徹底と学習習慣の確立を図ること
- 情報発信の工夫により、効果的な取組の普及に努めること
- コミュニティ・スクールや地域協育ネットの仕組みなど、地域の教育力を積極的に活用すること

本提言をもとに、各市町教育委員会及びやまぐち総合教育支援センターとの連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組が一層推進されることを期待します。